

「東北復興応援展なかの」出店一覧 [30日(金)・31日(土)のみ]

区分	店舗名	県・市町村	主な商品
物販	AoMoLink～赤坂～	青森県青森市	リンゴジュース、乾物、菓子各種
物販	産直たっこや	青森県田子町	田子にんにくなど物産品各種
物販	いわて銀河プラザ	岩手県	岩手県物産品各種
物販	宮城ふるさとプラザ	宮城県	宮城県物産品各種
物販	公益財団法人秋田観光コンベンション協会	秋田県	秋田県物産品各種
グルメ	CoCo夢や	山形県山形市	山形のソウルフードとんどん焼き、山形芋煮
物販	福島県矢祭町(特産品開発協議会)	福島県矢祭町	野菜、農産物加工品、花(バラ等)

※出店店舗、内容は変更になる場合がございます。

東北復興応援展

10/27(火)～31(土): パネル・ねぶた展示

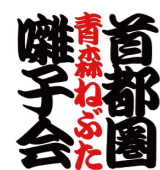
なかの

30日(金)・31日(土): 東北各地の物産展・グルメ
軽食スペースをご用意!

31日(土): お囃子の演奏

※ねぶたの運行・パレードはございません

31日(土)はお囃子の演奏を実施します!



「首都圏青森ねぶた囃子会」

平成18年に設立。毎月2回程度の囃子練習会を開催し、一般も自由に見学し、気軽に触れることが出来る環境を提供している。首都圏で開催されるイベントなどに積極的に参加しており、活動を通じ青森ねぶたの魅力発信し、東北復興大祭典においても大活躍している。



「青森ねぶた囃子 二木組」

平成16年に設立。正調あおもりねぶた囃子の技量を磨き、祭りへの参加を通じ社会への貢献と会員相互の親睦を目的としている。練習用太鼓3台を常設、週1回の囃子の練習をしている。また、練習生を受け入れ、ねぶた囃子の普及を図っている。囃子の演奏に加え、ねぶた運行も可能な団体として活動しており、東北復興大祭典においても活躍している。平成27年より青森市観光大使就任。



「東京ねぶた連合会」

関東地区で活躍する囃子方、跳人、運行方が集まり発足した。東京や関東近郊で開催されるねぶた祭りへの参加をはじめ、各種施設への慰問や商業イベントへの参加のほか、自らが企画したねぶたを運行している。青森ねぶた祭を通じて青森市の魅力を発信している。2013年1月、青森市より任を請け、「青森市観光大使」に就任。

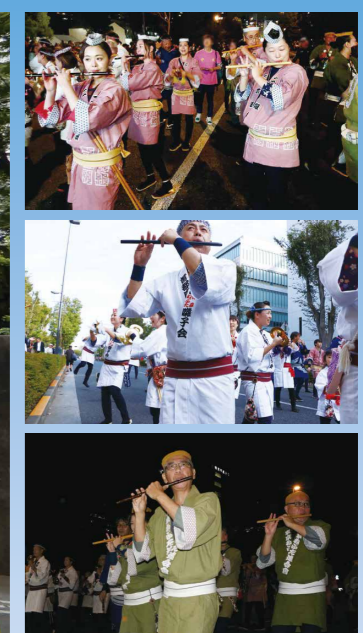
展示ねぶた紹介

【名】「草摺引」(くさずりびき)

【サイズ】幅約3.1m、奥行約5m、高約2m

【制作者】北村 隆

【題材】曾我五郎時致と朝比奈三郎義秀が鎧の草摺を引き合って力比べをした故事。浄瑠璃・歌舞伎などに脚色され、特に歌舞伎舞踊の長唄「正札附根元草摺(しょうふだつきこんげんくさずり)」が有名。



お囃子イメージ

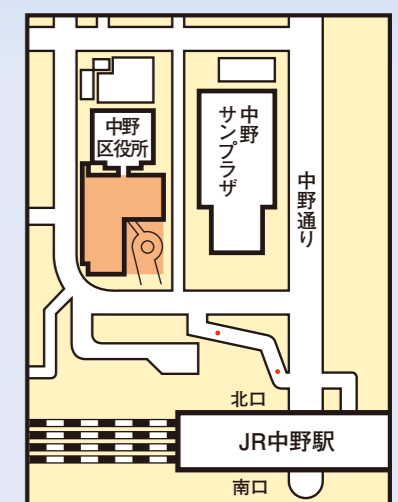
会場及び実施内容

- ①中野区役所1階ロビー(8:30～17:00)
・東北各地域のPR・パネル展示
- ②中野区役所 正面玄関広場
・ねぶた展示
・物産展・グルメ及び軽食スペース
(30日(金)・31日(土)のみ10:00～16:00)
・お囃子の演奏(31日(土)のみ 数回演奏予定)



物産展イメージ

会場までのアクセス



感染症対策にご理解とご協力をお願い致します。
体調の優れない方は、ご来場をお控え下さい。

主催: 東北復興大祭典なかの実行委員会
詳細は中野区HPで www.city.tokyo-nakano.lg.jp



「東北復興応援展なかの」開催の目的と概要

今回の「東北復興応援展」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が中止となった「東北復興大祭典なかの」の代替イベントとして開催するものです。

このイベントは、「東北復興大祭典なかの」の趣旨を引き継ぎ、東日本大震災で被災した東北地方への継続的な復興支援のために、東北六県の特産品の販売や、観光・文化の情報などを発信し、復興支援への理解や震災の記憶の風化防止を図ることを目的としています。

あわせて、青森ねぶた祭を始めとする「東北絆まつり」関係市の祭事も紹介いたします。本イベントを契機に東北地方と中野区相互の観光推進に寄与することも目的としております。

新型コロナウイルス感染症の影響で東北地方の祭事も相次いで中止となり、首都圏から訪問することも難しい状況ではございますが、ご来場の皆様におかれましては、感染症対策にご協力いただきながら、ぜひこの機会に東北地方の多彩な文化をお楽しみください。

今年の「東北復興応援展なかの」の様子



東北絆まつりの紹介

～中野は東北の復興を応援します～

「東北絆まつり」は東日本大震災後6年間開催された「東北六魂祭」の後継イベントとして、東北の更なる復興と未来への前進を祈願し、2017年に仙台市から新たにスタート。東北6県を代表する祭り(青森ねぶた祭(青森県青森市)／秋田竿燈まつり(秋田県秋田市)／盛岡さんさ踊り(岩手県盛岡市)／山形花笠まつり(山形県山形市)／福島わらじまつり(福島県福島市)／仙台七夕まつり(宮城県仙台市))が集結します。今年は延期となりましたが、昨年までの様子をご紹介します。



青森ねぶた祭(青森県青森市)

七夕祭りの灯籠流しの変形ともいわれる青森ねぶた祭。22団体の大型ねぶたが囃子とハネとともに出陣します。最終日は、ねぶた大賞をはじめ6台のねぶたの海上運行と花火が海を彩ります。

●開催日: 毎年8月2日～7日



秋田竿燈まつり(秋田県秋田市)

真夏の病魔や邪気を払う、ねぶり流し行事として約270年もの歴史を持つ秋田竿燈まつり。高さ12m、重さ約50kgもの竿燈を操り、妙技を披露します。

●開催日: 毎年8月3日～6日



盛岡さんさ踊り(岩手県盛岡市)

岩手県の名の由来でもある三ツ石神社の鬼退治伝説から始まったとされる盛岡さんさ踊り。「サッコラチヨイワヤッセ」の掛け声で力強くリズムを刻みながら舞い踊る太鼓と踊り手の演舞は、流れるようにしなやかで見ごたえ十分。世界記録を持つ太鼓パレードは必見です。

●開催日: 毎年8月1日～4日



山形花笠まつり(山形県山形市)

艶やかな踊り手の「ヤッショ、マカショ!」の掛け声が響く山形花笠まつり。花笠太鼓の勇壮な音色とともに美しい群舞を繰り広げます。

●開催日: 毎年8月5日～7日



福島わらじまつり(福島県福島市)

江戸時代から四百年にわたり受け継がれた伝統ある「眺まいり」に由来する福島わらじまつり。日本一と称される長さ12mの大わらじが音頭とともに練り歩きます。

●開催日: 毎年8月の第1金曜～日曜の開催



仙台七夕まつり(宮城県仙台市)

伊達政宗公の時代より続く、日本一の七夕「仙台七夕まつり」。巨大で美しい数多くの七夕飾りが、街全体を美しく彩ります。

●開催日: 毎年8月6日～8日

実行委員長あいさつ

今年も「東北復興大祭典なかの」の季節になりましたが、新型コロナウイルスの影響などを慎重に検討した結果、例年通りの大祭典の開催をやむを得ず見送ることとなりました。

しかしながら、東日本大震災から9年半、熊本地震から4年半が経過した今でも、復興が未だ終わっていない現状がある中で、復興の灯を消してはならないという強い想いと、中野区の地域活性化のために「東北復興応援展なかの」を特別展として開催する運びとなりました。例年の大祭典と比べて規模は縮小となりますが、各関係者のご協力により、皆さまに元気になってもらえるイベントとなっております。「継続は力なり」という言葉にもあるよう、このイベントを通じて被災地を応援する変わらぬ気持ちを風化させることなく、中野から発信していきましょう。

また、来年2021年に「東北復興大祭典なかの」は10周年を迎えます。実行委員会を中心に今から計画を練り、趣向を凝らした盛大な大祭典を開催したいと考えております。是非楽しみに待っていて下さい。

最後になりますが、「東北復興応援展なかの」の開催にあたり、東北各地域の自治体の他、多くの関係者などの多大なるご支援とご協力をいただきました。心から厚く感謝し御礼申し上げます。数多くのご来場を願っております。



実行委員会委員長

中鉢 泰平